



皆さんこんにちは！

地域おこし協力隊の渡辺です。

今月の集落支援だよりでは、小杉山集落の慰霊祭と長桜集落の訪問の様子についてお届けします。



地域おこし協力隊 集落支援担当  
わたなべ たかひろ  
渡辺 貴洋 隊員

## 小杉山集落の慰霊祭

小杉山集落には、町重要文化財に指定されている「大杉山村慶長地震遭難者供養塔」という石碑があります。

かつて、小杉山は大杉山という集落の端村でした。約400年前に起きた大地震によって、飯谷山の一部が崩落し、大杉山は壊滅的な被害に遭いました。被害を免れた人たちは、その後、現在の小杉山へ移り住み供養塔を建てたといわれています。現在は、石碑の風化が進み全文を読み解くことはできませんが、県の補助事業で作成したパネルで説明のあらましを見ることができ、集落で大切に守り継がれています。

小杉山では毎年、旧暦の8月21日に集落内にある飯谷神社で慰霊祭を執り行っています。今年も9月16日に行い、地域の皆さんが集まり、飯谷神社から供養塔がある観音堂に向けて御祈祷をしました。この慰霊祭は、石碑を建ててから毎年欠かさず行われ



飯谷神社での慰霊祭とその準備の様子

ており、集落の歴史とともに250年以上にも亘って脈々と受け継がれています。

現在の小杉山自治区の高齢化率は、83・3%と尾野本地区では2番目に高くなっています。しかし、集落で生活している人は自助・共助の意識が強く、特に冬場の生活で

は、お互い助け合って生活しています。人口が減り、できなくなってきたこともありませんが、地域でできることを続けていくことの大切さを実感しました。

## 長桜集落を訪問

先日、長桜自治区長に現在の集落状況について聞き取りを行いました。

尾野本地区にある長桜集落もまた高齢化率が65%を超えており、人口減少や高齢化が進んでいます。集落では、独自に観光ワラビ園を管理しており、地の利を生かした活動が行われています。

また、長桜は上谷（睦合）地区として、程窪と泥浮山の両自治区合同で活動することが多いです。例えば、サロンであれば毎月1回の頻度で、3集落合同で実施しています。そのほかにも、春と秋には国道49号の入口から集落までの約4歳の生活道路の人足を互いに協力し合いながら行っています。

人足は、人口減少や高齢化の影響により、住民だけでは作業の継続が困難となりつつあり、現在はシルバー人材センターに依頼して実施しています。このような状況を踏まえて、人足ボランティアを受け入れ、ボランティアの参加者と交流しながら地域の皆さんの作業負担の軽減を図ることなどを説明しました。人足は集落の維持には欠かせない作業ですので、地域の皆さんの意向を確認しながら、集落に合った支援策を模索していきたいらと考えています。



上谷3集落の人足の様子  
(令和2年撮影)